

2026.3.5

ふじた看図アプローチ研究会「ふじかん」第30回研究会報告

日時：2026年3月5日（木）18：15～20：00

場所：藤田医科大学3号館6F643、Zoom

参加者：対面7名、Web4名 計11名

ファシリテーター：織田千賀子



★今回のトピック★

「看図アプローチってなんだろう?」「来年度から授業実践に活かしたい」と関心を持って、今回新たに4名の方が参加してくださいました。他大学の看護系の先生2名と、本学医学部・医療科学部の先生2名です。看図アプローチへの関心が、医療教育のさまざまな領域へ広がりがつあることを感じる回となりました。

📍 1. 看図アプローチの理論の学び合い

テキスト『見方・考え方を育てる授業デザイン—看図アプローチの理論と実践—』の第1章第3節「ものこと原理で進める看図アプローチの実際」をもとに、LTD話し合い学習を用いて学び合いました。特に、言葉の理解では、「決まる」という表現について、問いによって相手の思考が方向づけられたり、目標が意識されたりすることとして話し合われました。また、「間接発問」については、学習者の内側から出てくる問いとして捉え、その意味を確かめ合いました。知っているつもりという言葉丁寧に捉え直し、共通理解しておくことが、その後の対話を深めてくれます。今回は「決まる」や「間接発問」が話題の中心となりました。学習者が着目して考えられるようにする問いの工夫や、多段階動機づけシステムとしての発問の役割についても話し合わせ、看図アプローチにおける問いの役割への理解が深まりました。また、英語教育におけるビジュアルマテリアルについての紹介もあり、ビジュアルテキストをめぐる理解を広げることもつながりました。

さらに、ラウンドロビンで発言することの意義についても意見が交わされました。気づいていても遠慮して言葉にしない学習者にとっても、順番に発言することで自分の気づきを言葉にしやすくなり、他者の見方に触れながら考えを深められることが確認されました。また、発見した人を認め、賞賛することが、互いの気づきを引き出し、大切にしている関わりにつながることも改めて共有されました。

📍 2. 看図アプローチ体験

今回のビジュアルテキストは、写真1の「ショコラ覚王山花壇&抹茶café」の店内写真です。

【変換】では、エルモ社の書画カメラを用いて写真に直接写っているものを書き込み、対面とオンラインで共有を図りました（例：ドア / 壁 / ポーラスブロック / 椅子など）。



写真1

【要素関連づけ】では、多様な読み解き方を重視し、「椅子はどこにあるのか」という問いを立てました。ラウンドロビンでは、「消火器の右にある」「ポーラスブロックの前にある」など、要素の位置関係や並び方に着目した事実が挙げられました。どの要素を手がかりに位置を捉えたのかを引き出す発問であることを確認し、着目する要素によって表現が変わることが、見方の広がりや対話の深まりにつながると参加者は実感していました。また、「それは読み取れる事実か」という観点から、適切性・妥当性も検討し、「要素関連づけ」の意味を再確認しました。事実を丁寧に捉えることが、その後の推論を支える土台になることを、参加者が体験的に感じ取る時間となりました。

【外挿】では、「奥には、どんな部屋がありますか」という問いに、「アンティークなテーブルと椅子、そしてピアノがある部屋」「外にもつながるカフェ」「商談スペースと休憩スペースの両方を兼ねているのでは」など、多彩な解釈が生まれました。自由に考えることを大切にしつつも、写真の中の要素を根拠にしながら考えることが意識されていました。

【確認 — 写真の向こうに広がるもの】

写真2で事実確認をすると、想定外の部屋に「え〜！」と驚きの声が上がりました。

続いて、ファシリテーターがお店の方から伺ったこの空間について紹介しました。奥にある茶室には、若い人にもお茶やお花に興味を持ってほしいというオーナーの強い思いが込められており、伝統を大切にしながら、次の世代へひらいていく空間として設えられています。檜古材の床柱や柿渋染めの天井、ふすまや欄間の工夫、西尾産の抹茶や犬山焼の器なども、そうした思いを支える工夫が凝らされています。

そこに込められた願いを知ること、この空間はぐっと印象深く感じられるようになりました。「花壇」——それは、人の人生にも、いつか花が咲くように、という願いが込められた名前です。振り返りとクロージングでは、「今の気持ちを自分の表情と動作で表現」をテーマに、ラウンドロビンで全員が発言し、笑いとおかさの中で会を締めくくりました。



写真2

♡ おわりに

対話の中で見方が広がり、問いの立て方によって学びが深まっていく——その様子が、参加者同士のやりとりの中によく表れた研究会でした。また次回も、参加者の皆さまとともに問い合いながら、学びを深めていければと思います。

注：写真はショコラ覚王山花壇&抹茶 caféにて、許可を得て撮影、掲載しています。

文責：織田千賀子



集合写真